

ニューフェイスコーナー

新規開業ご挨拶

宇部市医師会 さの脳神経内科クリニック

佐野 泰照

2021年10月に宇部市で「さの脳神経内科クリニック」を開業させていただきました、佐野泰照と申します。山口県医師会の先生方におかれましては、山口大学医学部附属病院勤務時代、当院開院後ともに大変お世話になっており、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。私の出身は兵庫県姫路市であり、山口大学入学を機に山口県へ転居してまいりました。以後、大学院生時代に3年間新潟市に在住していた以外はすべて山口県で暮らしており、なかでも宇部での生活が最長となりました。そしていつしか、宇部が故郷のような地になり、大好きな街になりました。山口大学医学部附属病院での仕事も臨床・研究・教育と充実したものでしたが、次第に大好きな宇部で地域医療に貢献したいという思いが強くなり、この宇部市で開業するに至りました。当院は認知症、パーキンソン病、てんかん、脳血管障害、脊髄症などの中核疾患から、末梢神経疾患や筋疾患に至るまで幅広い疾患を扱っております。大学病院でも採用している日本光電社製の脳波計及び神経伝導

検査装置を完備しております。新患としては頭痛（片頭痛が圧倒的に多いですが、緊張型頭痛、群発頭痛、その他の一次性頭痛、また時には二次性頭痛のケースもあります）、めまい、認知症、パーキンソン病の患者様に多く来院いただいております。基幹病院からの紹介の脳梗塞の二次予防目的の患者様も多いです。その一方で皮膚筋炎、アレルギー性肉下種性血管炎やランバート・イートン筋無力症候群などのケースも来院されます。これらの難治性神経筋疾患を早期に pick up し、大学病院など基幹病院へ紹介し、早期治療へとつなげる架け橋としての役割も担っております。

山口県は歴史好きの私にとってはこの上ない魅力的な場所であり、源平合戦の壇ノ浦の戦い、室町時代の大内氏の文化、武蔵と小次郎の決闘、毛利輝元公の萩城築城とその後の毛利氏による藩政、幕末、そして明治維新と話題に事欠きません。こんなすばらしい山口県の地域医療をこれからもしっかり担っていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

